

平成22年国勢調査第2次試験調査の概要

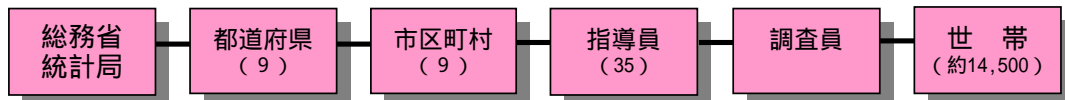
目的

平成22年国勢調査第1次試験調査の結果を踏まえた調査方法・調査事務の再検討及び調査項目の設定の検証

概要

- 調査日 : 平成20年6月13日現在
- 調査地域 : <市区町>
岩手県北上市、東京都豊島区、神奈川県横浜市、富山県高岡市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、鳥取県米子市、高知県佐川町、長崎県佐世保市の9市区町
<調査区>
上記の市区町の区域に属する平成17年国勢調査調査区の中から地域特性を考慮して選定する280調査区
- 調査対象 : 調査日現在、上記の選定調査区に常住するすべての世帯・人（約14,500世帯）
- 調査項目 : 「就業時間」及び「家計の収入の種類」の廃止、従業上の地位「雇用者」の選択肢の変更（正規・非正規の把握）、派遣労働者について派遣先産業の把握への変更、「5年前の住居の所在地」の記入方法の変更による5歳未満の子供の出生地の把握など
- 調査方法 : <調査票の配布>
調査員が世帯と面接して、記入依頼を行った上で調査票を配布
不在世帯への訪問回数上限を3回とし、その回数内に世帯と面接できない場合は郵便受に入れるなどして配布
<調査票の提出>
郵送提出、調査員への封入提出、インターネットでの回答又は市区町への持参によることとし、調査区ごとに、原則郵送提出として周知する方法と、世帯が希望する方法で提出できることを周知する方法のいずれかで実施
郵送提出のあて先は全国一括の場所
<フォローアップ回収>
所定の期間内に調査票が提出されなかった世帯については、調査員が当該世帯を訪問して調査票を直接回収（フォローアップ回収）することとし、調査区ごとに、調査票の配布からフォローアップ回収までをすべての調査員が継続して担当する方法と、調査票の配布はすべての調査員が担当し、フォローアップ回収は半数の調査員が担当する方法のいずれかで実施
<調査票の審査>
全国一括の場所において、調査票の入力及びデータチェックを行い、記入不備のある調査票データを市区町において審査

調査の流れ：



市部：1 調査員 2 調査区担当 郡部：1 調査員 1 調査区担当

結果利用

平成22年国勢調査の企画・立案の検討に用いる基礎資料 など

○記入には黒の鉛筆を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
○答えを記入する欄が○の場合は、当てはまる○を●のようにぬりつぶしてください。
○答えを数字で記入する欄は、下の例のように、枠からはみださないように、右づめで書いてください。

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入してください。



平成20年6月13日
総務省統計局

4人
右づめに

記入は
黒の鉛筆で

数字の
記入例

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
はねない 上につきぬける 角をつける

世帯員全員に就いて	1 氏名及び男女の別 ・ふだん住んでいる人をめれなく書いてください	1 (氏名) 男 女	2 (氏名) 男 女	3 (氏名) 男 女	4 (氏名) 男 女	
	2 世帯主との続き柄 ・世帯主の配偶者(妻又は夫)の 祖父母・兄弟姉妹はそれぞれ 祖父母・兄弟姉妹に含めます 孫の配偶者は孫に兄弟姉妹 の配偶者は兄弟姉妹に含めます	世帯主 世帯主の 子 子の 世帯主の 世帯主の 又は 代表者 配偶者 配偶者 配偶者の 配偶者の 父母 父母	世帯主 世帯主の 子 子の 世帯主の 世帯主の 又は 代表者 配偶者 配偶者 配偶者の 配偶者の 父母 父母	世帯主 世帯主の 子 子の 世帯主の 世帯主の 又は 代表者 配偶者 配偶者 配偶者の 配偶者の 父母 父母	世帯主 世帯主の 子 子の 世帯主の 世帯主の 又は 代表者 配偶者 配偶者 配偶者の 配偶者の 父母 父母	世帯主 世帯主の 子 子の 世帯主の 世帯主の 又は 代表者 配偶者 配偶者 配偶者の 配偶者の 父母 父母
	3 出生の年月 ・該当する元号又は西暦に 記入したうえで年及び月 を書いてください ・年を西暦で記入する場合は 西暦年の4ケタを書いてください	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦
	4 配偶者の有無 ・届出の有無に関係なく記入 してください	未婚(幼児などを きむ) 配偶者あり 死別 離別	未婚(幼児などを きむ) 配偶者あり 死別 離別	未婚(幼児などを きむ) 配偶者あり 死別 離別	未婚(幼児などを きむ) 配偶者あり 死別 離別	未婚(幼児などを きむ) 配偶者あり 死別 離別
	5 国籍 ・外国の場合は 国名も書いて ください	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)
	6 現在の場所に住んでいる期間 ・生まれてから引き続き現在の 場所に住んでいる場合は 出生時 からのみに記入してください	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上
7 5年前(平成15年6月13日)にはどこに住んでいましたか ・平成15年6月13日以後に生まれた人 については生まれた場所(その時点で母 親が住んでいた場所)を書いてください ・現在の場所(出生時から又は5年 以上住んでいる都道府県)については 記入する必要はありません ・同じ区・市町村内の他の場所又は 他の区・市町村の場合はその都道府 県・市区町村名(東京都区部と政令 指定都市の場合は区名まで)を書いて ください	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他区・市町村 外国	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他区・市町村 外国	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他区・市町村 外国	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他区・市町村 外国	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他区・市町村 外国	

世帯について((1)~(4)欄は 調査票が2枚以上にわたる場合は1枚目に記入してください)

(1) 世帯員の数 ・世帯員全員の数を 総数 男 女 書いてください	(3) 住宅の建て方 一戸建 長屋建(テラスハウスを きむ) 共同住宅 その他
(2) 住居の種類 都道府県・市町村の 持ち家 都道府県・市町村の 公営住宅 都道府県・市町村の 民間賃貸住宅 都道府県・市町村の 公営賃貸住宅 都道府県・市町村の 民間賃貸住宅(社員住宅など) 住宅に間借り 会社等の 独身寮・寄宿舎 その他	(4) 住宅の床面積の合計 (延べ面積) ・住宅の床面積の合計(居住室の床面積 のほか 玄関・台所・トイレ・浴室・ 廊下・押し入れなどを含む)を記入 してください ・営業用の部分及び他の世帯が使って いる部分は除いてください
電話番号	建物全体の階数 住んでいる住宅のある階
世帯では 下の欄には記入しないでください	20㎡未満 20~30㎡未満 30~40㎡未満 40~50㎡未満 50~60㎡未満 60~70㎡未満 70~80㎡未満 80~90㎡未満 90~100㎡未満 100~120㎡未満 120~150㎡未満 150~200㎡未満 200~250㎡未満 250㎡以上

世帯の種類	一般の世帯(会社等の 独身寮(の 入居者を きむ) 学校の学生寮・ 寄宿舎の学生・生徒 病院・ 療養所の入院者 老人ホーム 等の社会施設の 入所者 その他
市区町村コード	調査区番号
世帯番号	この世帯の調査票 枚のうち 枚目

裏面(第2面)にも
記入してください

インターネット用	調査票ID: 確認コード:
----------	------------------

	1	2	3	4
世帯員全員について	8 教育 ・現在 学校に在学しているかどうかについて記入したうえで 矢印に従って記入してください ・在学中の人はその学校 卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人は その前の卒業学校)について記入してください 在学中 卒業 未就学 小学 中学 高校 旧中 幼稚園 保育園 保育所 短大 高専 大学 大学院 乳児 その他	在学中 卒業 未就学 小学 中学 高校 旧中 幼稚園 保育園 保育所 短大 高専 大学 大学院 乳児 その他	在学中 卒業 未就学 小学 中学 高校 旧中 幼稚園 保育園 保育所 短大 高専 大学 大学院 乳児 その他	在学中 卒業 未就学 小学 中学 高校 旧中 幼稚園 保育園 保育所 短大 高専 大学 大学院 乳児 その他
	6月6日から12月9までの1週間に仕事をしましたか ・仕事とは 収入を伴う仕事をいい 自家営業(農業や店の仕事など)の手伝いや内職・パートタイム・アルバイトも含めます ・通学には 予備校・専門学校などに通っている場合も含めます 少しでも仕事(収入を伴うもの)をした人 少しも仕事(収入を伴うもの)をしなかった人 主に 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入	主に 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入	主に 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入	主に 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入 10~14欄にも記入
就業者・通学者について	10 従業地又は通学地 ・仕事も通学もしている人は 仕事をしている場所について記入してください ・同じ区・市町村 又は他の区・市町村の場合は その都道府県・市区町村名(東京都区部と政令指定都市の場合は 区名まで)も書いてください 自宅(住み込みを含む) 同じ区・市町村 他の区・市町村 12欄へ (所在地を左づめて記入)	自宅(住み込みを含む) 同じ区・市町村 他の区・市町村 12欄へ (所在地を左づめて記入)	自宅(住み込みを含む) 同じ区・市町村 他の区・市町村 12欄へ (所在地を左づめて記入)	自宅(住み込みを含む) 同じ区・市町村 他の区・市町村 12欄へ (所在地を左づめて記入)
	11 従業地又は通学地までの利用交通手段 ・二つ以上の交通手段を利用している場合は 該当するものすべてに記入してください 徒歩のみ 鉄道 乗合バス 勤め先の学校のバス 自家用車 ハイヤー タクシー オートバイ 自転車 その他	徒歩のみ 鉄道 乗合バス 勤め先の学校のバス 自家用車 ハイヤー タクシー オートバイ 自転車 その他	徒歩のみ 鉄道 乗合バス 勤め先の学校のバス 自家用車 ハイヤー タクシー オートバイ 自転車 その他	徒歩のみ 鉄道 乗合バス 勤め先の学校のバス 自家用車 ハイヤー タクシー オートバイ 自転車 その他
就業者について	12 勤めか 自営かの別 ・労働者派遣事業所の派遣社員とは 労働者派遣法に基づいて働いている人を入ります ・パート・アルバイト・その他には 契約社員 嘱託なども含めます ・自営業主とは 個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自由業の人を入ります 雇われている人 正規の職員・従業員 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 自営業主 雇人あり 雇人なし 家族従業者 家庭内の専任(内職)	雇われている人 正規の職員・従業員 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 自営業主 雇人あり 雇人なし 家族従業者 家庭内の専任(内職)	雇われている人 正規の職員・従業員 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 自営業主 雇人あり 雇人なし 家族従業者 家庭内の専任(内職)	雇われている人 正規の職員・従業員 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 自営業主 雇人あり 雇人なし 家族従業者 家庭内の専任(内職)
	13 勤め先・業主などの名称及び事業の内容 ・仕事をしている事業所(本社・本店 支社・支店 営業所 工場 商店など)の名称(官公庁の場合は課名まで)を書いてください ・労働者派遣事業所の派遣社員は 派遣先の状況について書いてください 「調査票の記入のしかた」の12~15ページの書き方の例を参考にして くわしく書いてください			
就業者について	14 本人の仕事の内容 ・本人が実際にしている主な仕事の内容をくわしく書いてください			

この調査票は機械にかけますので汚さないでください

「協力ありがとうございます」